

SQL Server 2016

【エディション】

製品名	サポート可能な CPU (コア)の最大数	サポート可能な RAM の最大容量	データベースの最大容量
SQL Server 2016 Standard 日本語版 (※1)	4基(16コア)	64GB	制限なし
SQL Server 2016 Express(無償)	1基(4コア)	1GB	10GB

EXPRESSは使用メモリが最大1GBなのでデータが増えると「スピード」が遅くなる弱点があります。

【価格】

製品名	ライセンス区分	参考価格(税込)
228-10599 SQL Server 2016 Standard 日本語版 コア・ライセンス(4コア用) (CAL無制限)		1,017,584円
228-10821 SQL Server 2016 Standard 日本語版 サーバーライセンス (CAL無)		111,186円
359-06328 SQL Server 2016 クライアント アクセス ライセンス (1CAL)		27,421円
228-10603 SQL Server 2016 Standard 日本語版 DVD (10CAL付)		423,452円

◇ライセンス区分(コア・ライセンスとサーバー/CALライセンス)

(1)コア・ライセンスで購入…従来のプロセッサライセンスに相当

SQL Server が動作するハードウェア上の物理プロセッサの合計コア数でコア・ライセンスを購入します。たとえば、2CPU搭載で1CPUあたり4コアの場合には8コア分のコア・ライセンスを購入せねばなりません。コア・ライセンスを購入した SQL Server には、無制限のユーザーまたはデバイスを続することができます。面倒な手続き(CALライセンスの購入)が不要というメリットはありますが、かなり高額になります。一般には接続台数(Webシステムを含む)が30台を超える大規模システムで導入されます。

(2)サーバー/CAL で購入…(推奨)

SQL Server が動作するサーバー数分(1ハードウェア毎)のサーバー ライセンスを購入します。また、SQL Server にアクセス(Webシステムを含む)するユーザーまたはデバイスの数だけのCAL も併せて購入します。CAL を購入したユーザーまたはデバイスは、社内にある複数の SQL Server にアクセスすることができます。つまり、SQL Server が動作するサーバーを追加した場合でもサーバー機用に SQL Server のサーバー ライセンスを追加購入するだけでよく、サーバー機の追加の際に別途 CAL を購入する必要はありません。一般には接続台数(Webシステムを含む)が30台未満の小規模システムで導入されます。

[購入例]

受注出荷サーバx1、クライアント10台(受注出荷+進捗)のパソコンで利用する場合。

(ケース1)…ライセンス購入

- ・SQL Server 2016 Standard 日本語版 サーバー ライセンス x 1
- ・SQL Server 2016 Standard クライアント アクセス ライセンス x 10

(ケース2)…パッケージ購入

- ・SQL Server 2016 Standard 日本語版 (10CAL付) x 1

[購入先]

- ・ライセンス購入の場合…富士通、NEC、キャノン、リコー、NTTデータ等マイクロソフト・パートナー企業。
- ・パッケージ購入の場合…アマゾン等ネットショップ。(ヤマダ電機など量販店等では販売されていないようです。)

(※)参考価格は、2016/10/8に「Yahoo!Japan ショッピング」にて調査した結果。